

美術科の実践

◆テーマ

美術の学習活動における ICT の活用について

◆本校の実践

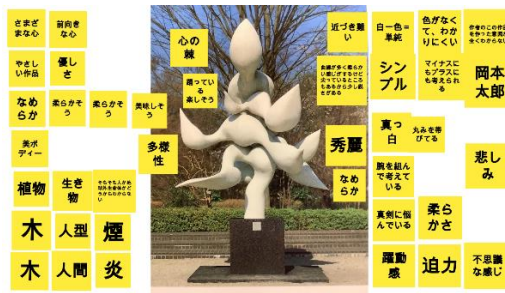
○「主体的な学び」の見取りと評価について

本年度、本校美術科では「主体的な学びのプロセスモデル」に沿って、生徒自身が自分なりの意味や価値をつくりだすことを目的とした題材の設定を意識して行った。「問いをもつことのできる題材」に対して生徒自身が問いをもち、その解決に向けて主体的に取り組む姿勢は、授業の取り組みの様子や振り返りの記述から見取ることができた。また、題材全体を通して「主体的な学び」を評価する際も、振り返りを通して「知識・技能」や「思考・判断・表現」と関連付けた評価に繋げることができた。

○一人一台 PC を活用した指導と評価についての実践

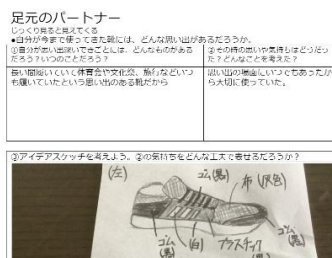
①鑑賞活動における ICT 活用

Google アプリ「Jamboard」の活用によって、鮮明な画像での詳細な鑑賞活動や、小グループでの対話的な鑑賞活動などを効果的に行うことができた。また、プロジェクターによる投影も併用し、端末の画面や図版だけではスケールを考えにくい作品についても鑑賞活動に取り入れることができた。



②オンライン授業における美術科の授業展開

オンライン会議アプリ「zoom」での授業実践において、PowerPoint による板書や映像を取り入れた授業展開、Google アプリ「classroom」を用いたワークシート配布を行い、制作に向けての下地となる鑑賞活動や発想・構想の時間をもつことができた。



◆参加者の皆さんと意見交換したいこと

美術科の学習活動における効果的な ICT の活用について